

2010年12月7日
株式会社日立製作所
株式会社日立ビルシステム

複数拠点のエネルギー・セキュリティ・ビル設備の一元管理を行う クラウド型ビルファシリティマネジメントソリューション「BIVALE(ビヴァーレ)」を発売

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明)および株式会社日立ビルシステム(取締役社長:池村 敏郎)は、クラウドコンピューティングを活用して複数のビルや事業拠点のエネルギー・セキュリティ・ビル設備の一元管理を行うビルファシリティマネジメント^{*1}ソリューション(以下、ビルFMソリューション)「BIVALE(ビヴァーレ)^{*2}」を2011年1月4日に発売します^{*3}。

ビルのオーナーや管理会社には、電気・ガスなどのエネルギー管理、入退室などのセキュリティ管理、受変電設備や衛生設備などのビル設備管理を効率よく実施することが求められています。

「BIVALE」は、従来日立が個別に提供してきたエネルギー・セキュリティ・ビル設備の各管理システムのサービスを統合利用できるクラウド型ソリューションです。「BIVALE」のサービスにより、お客様が普段使用しているPC^{*4}でビル内の設備の稼働状況、エネルギー使用量や入退室履歴データの閲覧、設備故障監視などが行えるだけでなく、現地の映像を確認しながらビル設備を制御するといった操作も容易に実現できます。

また、複数ビルの設備や機器の一元管理も可能で、ビル管理業務の効率化や、エネルギー使用量の“見える化”による省エネルギーの推進に貢献します。

「BIVALE」はクラウド型サービスを用いるので、お客様の施設内に新たに専用サーバーやソフトウェア等のシステムを構築する必要がなく、お客様が普段使用しているPCを使ったインターネット経由での管理が可能です。これにより導入・運用コストを抑えることができる^{*5}。うえ、導入後の機能拡張や変更にもスムーズに対応できます。さらに、今回新たに、「BIVALE」を導入したビルオーナーや管理会社が設定した範囲で、テナント自身によるデータ管理や設備・機器の運転の設定変更も可能とし、双方の業務効率向上を図ることができます。

「BIVALE」では、日立のカスタマーセンターと全国約350拠点のサービス拠点を活用し、24時間・365日体制でビル設備・機器の故障監視等のサービスも提供可能であり、お客様からのお問合せや緊急時の出動にも迅速に対応できます。

日立は「BIVALE」で、2012年度に35億円の売上高(サービス・機器)をめざします。

*1 ビルを最適な状態で運営・維持することをめざすビル設備・機器(空調設備、照明機器、セキュリティシステムなど)の運用管理を指します。

*2 「BIVALE」は、“ビルまるごと”のファシリティマネジメントソリューションを通じて、お客様のビルの価値向上をリードしていくというコンセプト「Building Value Leader」に基づく名称です。

*3 日立製作所と日立ビルシステムの両社が営業・販売を行います。また日立製作所がコントローラーなどの機器を製造し、日立ビルシステムが据付・センター運用・システムの保守等を行います。

*4 対象OS: Windows®XP、Windows Vista®またはWindows®7、前提条件: Internet Explorer 7またはInternet Explorer 8を搭載し、ディスプレイ解像度が1024×768ドット以上のもの。

*5 お客様の施設内に専用サーバーを設置するシステムに比べて、初期導入時におけるサーバー関連費用やその保守・保全費用、さらに、数年毎のサーバーリプレース費用などのシステム運用・維持のための投資が低減されます。

■ 「BIVALE」 発売の背景

2010年4月の改正省エネ法^{*6}施行により、エネルギー管理の規制対象が、従来の事業所(工場、ビル)単位から、各地の事務所などを統括する事業者(企業)単位に変更となりました。これにより、エネルギー使用量の管理と行政への報告を行うことを義務付けられた事業者が大幅に増加し^{*7}、各事業所のエネルギー使用量の“見える化”と、そのデータに基づく効率的な省エネ対策に対するニーズが高まっています。また、内部統制強化の観点から、ビル、オフィス、店舗のセキュリティの向上や、快適な居住環境を維持・提供するためのビル設備管理に対するニーズも引き続き高く、ビル管理効率化を支援するシステムやサービスが求められています。

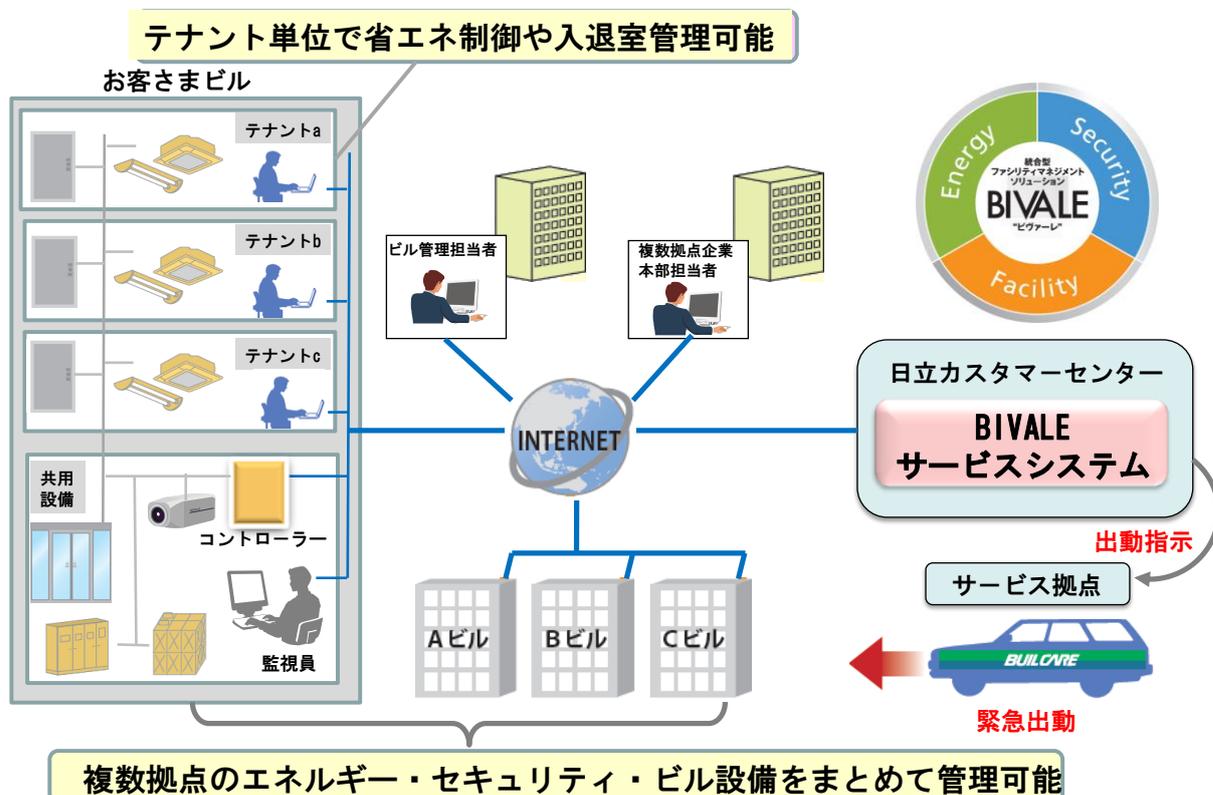
新しいシステムの導入に当たっては、低コストでの比較的簡単な導入と運用、複数ビル・複数拠点における各種管理業務の一元化、テナントへのきめ細かな管理サービスの提供によるビル管理業務の効率向上といったお客様のニーズがあり、これらに対応すべく、このたび日立は「BIVALE」を開発し発売します。

*6 エネルギーの使用の合理化に関する法律。

*7 業務部門における規制対象事業者が約1割から5割に拡大。(資源エネルギー庁資料、2009年6月)

■ 「BIVALE」のサービス概要図

「BIVALE」サービスの実現にあたり、エネルギー・セキュリティ・ビル設備を制御するための基本機能を共通化した用途別の「コントローラー」と、これを介してビル内の設備や機器を遠隔地から監視・制御する「BIVALEサービスシステム」を開発しました。



■ 「BIVALE」の特長

1. エネルギー・セキュリティ・ビル設備の統合管理が可能

「BIVALE」により、お客様が普段使用しているPCでエネルギー・セキュリティ・ビル設備の統合管理が可能です。これにより、例えば防犯カメラの映像で周囲の状況を確認しながら電動シャッターの開閉を行う、といった映像モニタリングと遠隔制御を連動させた操作も可能です。

2. 複数ビル・複数拠点の一元管理が可能

遠隔地から複数のビルの設備・機器の一元管理が可能で、これらの管理業務の効率を向上することができます。

3. クラウド型サービスで導入・運用・拡張が容易

「BIVALE」はクラウド型のサービスであり、お客様が普段使用しているPCを使ってインターネット経由での設備・機器管理が可能です。お客様のビルや施設内に専用サーバーやソフトウェア等のシステムを構築する必要がなく、低コストでシステムを導入し運用することができます。また、「BIVALE」はエネルギー管理、セキュリティ管理、ビル設備管理のどのサービスからでも導入可能であり、導入後の機能拡張や変更にもスムーズに対応できます。

4. テナントに対しても管理サービスを提供可能

ビルオーナーや管理会社があらかじめ設定した範囲で、ビルに入居しているテナントも、「BIVALE」のサービスを利用することができます。これにより、テナントの管理者が自ら、テナント専有部におけるエネルギー使用量の管理、パッケージエアコンの運転設定や入退室管理システムの履歴管理・権限設定などを現場のニーズや運用に合わせて行うことができます。このため、従来、ビル管理会社が行っている管理業務を軽減することができ、管理の効率化やコスト低減を図れます。

5. 日立カスタマーセンターによる24時間・365日体制の充実したサポート

お客様の業務・運用を効果的にサポートするため、24時間・365日体制の日立のカスタマーセンターと、全国約350拠点のサービスネットワークにより、システムに関するお問合せ対応やセキュリティカード紛失時の無効化などの業務支援サービス、遠隔監視している設備機器やコントローラー等で故障等が発生した際の最寄り拠点からの出動サービスなど、人的サービスも提供します。

■ 「BIVALE」が提供するサービスパッケージの具体例とその内容

1. BIVALE - Energy

| サービスパッケージ | サービス内容 |
|------------------|---|
| クラウド型省エネサポートサービス | <ul style="list-style-type: none">・エネルギー使用量の管理・見える化の環境提供・テナント単位の省エネ制御(見廻り温度設定 *8、スケジュール制御等)の環境提供・自治体に提出が必要な定期報告書等の作成支援の環境提供 |

*8 パッケージエアコンで設定した温度がマニュアル操作で変更されても、一定時間後に設定した温度に自動的に戻す機能。

2.BIVALE-Facility(対象ビル規模:延床面積 20,000 ㎡以下)

| サービスパッケージ | サービス内容 |
|---|---|
| 遠隔監視制御サービス ベーシックプラン (オフィス・複合ビル向け) | <ul style="list-style-type: none"> ・日立カスタマーセンターによる24時間365日の設備機器の遠隔監視 ・設備の遠隔制御(操作)およびエネルギー使用量管理(1点)の環境提供 ・通用口などのセキュリティ管理(1ドア) |
| 遠隔監視制御サービス ベーシックプラン (マンション向け) | <ul style="list-style-type: none"> ・日立カスタマーセンターによる24時間365日の設備機器の遠隔監視 ・設備の遠隔制御(操作)の環境提供 ・集合玄関・エレベーターのセキュリティ管理 |
| 遠隔映像モニタリングサービス | <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ映像を見ながら行う設備の遠隔制御の環境提供 ・カメラ映像を見ながら行う遠隔地との音声通話の環境提供(オプション) |
| クラウド型ビル管理サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・現地のビル内における設備機器の監視・制御の環境提供 ・遠隔からのビル設備の監視・制御、稼働状態の履歴管理の環境提供 ・テナント単位のエネルギー使用量の管理・見える化の環境提供 |

3.BIVALE-Security(カードリーダー設置台数 160 台以下)

| サービスパッケージ | サービス内容 |
|----------------|--|
| クラウド型入退室管理サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・入退室の履歴管理、カード発行管理の環境提供 ・日立カスタマーセンターによる24時間365日のシステム機器の故障監視 ・テナント単位での入退室の履歴管理、カード発行、履歴管理の環境提供 |

■価格および発売時期

| ソリューション名 | 価格 | 発売時期 |
|--------------------------------|---------|---------------|
| 統合型ファシリティマネジメントソリューション「BIVALE」 | 個別見積 *9 | 2011年1月4日 *10 |

*9 本サービスの導入の際に必要な機器を一括でお買い上げいただき、月額サービス料金を毎月お支払いいただく他に、機器費用を含んだ月額サービス料金としてお支払いいただくことも可能です。また、サービスを追加する際には、導入済みサービスでお支払いいただいているカスタマーセンター利用の基本料金分は、重複してお支払いいただく必要はありません。

【参考】機器費用を含んだ一括の月額サービス費(ただし、配線、配管工事費用や回線費用は含まず)

- ・クラウド型省エネサポートサービス 75,000 円/月～(延床面積約 5,000 ㎡)
(パッケージエアコン 120 台の制御(空調機器費用含まず)、エネルギー使用量見える化 7 点、共用設備監視 8 点)
- ・遠隔監視制御サービスベーシックプラン(オフィス・複合ビル向け) 20,000 円/月～
(共用設備監視 8 点(緊急の場合の出動あり)、ドアセキュリティ(1カ所)、エネルギー使用量見える化(1点))
- ・遠隔映像モニタリングサービス 40,000 円/月～
(遠隔監視制御サービスと、カメラ 3 台によるモニタリングサービスをセットにした場合)
- ・クラウド型入退室管理サービス 40,000 円/月～
(4ドアの入退室管理(電気錠機器費用含まず))

*10 サービス提供開始は、2011年6月を予定。

■他社所有商標に関する表示

Internet Explorer、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 都市開発システム社 ソリューション事業部 [担当:柿崎、飯島]

〒101-8010 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号 秋葉原 UDX

電話:03-4564-9560 (直通)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
